



各 位

2025年10月28日

上場会社名 株式会社 テセック
代表者 代表取締役社長 田中 賢治
(コード番号 6337)
問合せ先責任者 取締役 戸田 雄介
(TEL 042-566-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月13日に公表した通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,500	130	140	100	18.45
今回修正予想(B)	5,100	130	310	230	42.07
増減額(B-A)	400	-	170	130	
増減率(%)	7.3	-	121.4	130.0	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	5,892	434	674	427	77.25

2. 修正の理由

期初の業績予想において、ハンドラの受注は底打ちを迎える一方、テストについてはダウントレンドと想定しましたが、テストの軟調な引合受注状況を踏まえ、売上高を51億円(修正前は55億円)と予想します。

損益面は、テスト分野における部材高騰の影響が概ね解消したこと、研究開発費が想定を下回る見込みであること、為替水準が想定よりも円安で推移していることなどから、営業利益1億30百万円(変更なし)、経常利益3億10百万円(修正前は1億40百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益2億30百万円(同1億円)を予想します。

また、当社は自社の事業環境に多くの不確実性が存在することを認識しているため、海外拠点と緊密に連携しつつ、引合状況や受注見通しを継続的に精査しております。米国の高関税政策については、連結売上高に占める米国向けの構成比が1割未満であることから、現時点で直接的な影響は軽微と見込んでいますが、連結業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

なお、当第2四半期(上半期)における米ドルの平均レートは145.9円となりましたが、業績予想における下半期(2025年10月1日～2026年3月31日)の想定レートは145円(下半期の為替感応度は、1円安に対し7百万円程度の営業利益増)としております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上